主役にならなくていい。脇役のトップでありたい。

◆パラクロン
【アクリル酸エステル系ポリマー】
熱可塑性のアクリル酸エステル系ポリマーで、耐候性に優れ、柔軟性、粘接着性を有します。

◆ハイパール
【メタクリル酸エステル系共重合ポリマー】
熱耐候性、透明性に優れており、高分子量で狭い分子量分布を持っています。

◆アートレジン
【反応性ウレタンアクリレートオリゴマー・ポリマー】
電子線・紫外線・可視光・常温硬化型樹脂等のベースレジン・改質剤として使用されます。

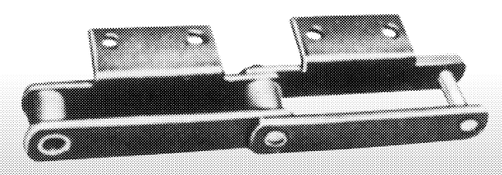
◆アートパール
【真球機能性微粒子ポリマー】
耐溶剤性、再分散性に優れた真球状架橋ポリマー微粒子です。

NEGAMI CHEMICAL INDUSTRIAL CO.,LTD.
根上工業株式会社
〒929-0125 石川県能美市道林町ロの22番地
Tel:0761-55-3121 Fax:0761-55-4412
http://www.negamikogyo.co.jp/index.html
ポリマーの限りない未来を求め、私たちは挑戦し続けます。

三協アルミ
Life with Green Technology
環境技術でひらく、豊かな暮らし
環境配慮型商品・素材・空間によって新しい価値を創造し、人々の豊かな暮らしを実現する企業グループへ。

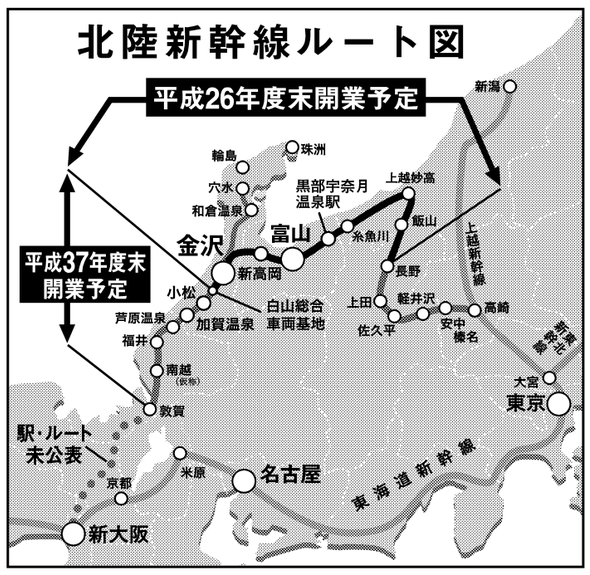
東京駅丸の内駅舎。100年前の窓をアルミで復原したのは私たちの技術です。
三協立山株式会社　三協アルミ社　http://alumi.st-grp.co.jp/

コンベヤーチェン　O.H.K.SO



製造品目　●コンベアチェン　●ダブルピッチチェン　●特殊コンベアチェン　●ローラチェン　●トロリコンベアチェン　●コンベアシステム
株式会社 北三工業　石川県加賀市美岬町63　TEL 0761-72-7170　FAX 0761-72-7178
HKSグループ
大阪HKS株式会社　大阪市西区九条1-22-17　TEL06-6584-8878　FAX06-6584-8822
札幌事務所　札幌市白石区菊水1条1丁目3-46　TEL011-823-9278　FAX011-823-6633
西部チェン株式会社　熊本市平成3丁目18-13　TEL096-379-6666　FAX096-379-6669

北陸新幹線開業まで1年

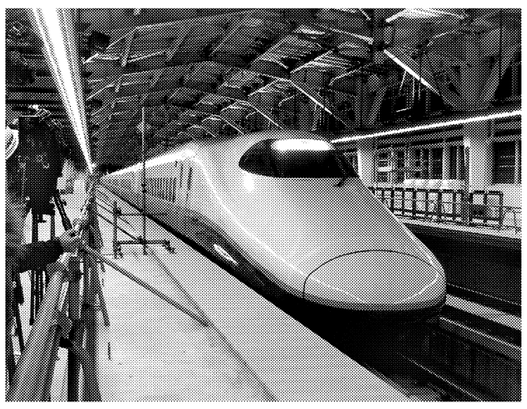


2015年3月の北陸新幹線の金沢開業まであと1年に迫った。新幹線停車駅の建設工事、改良工事が急ピッチで進み、一部区間では走行試験が始まった。開業すれば東京―金沢間を約2時間30分で結び、現行より約1時間20分短縮される。富山、石川の両県には工芸品や温泉地、海岸や山岳地帯などもともと観光資源を多く有するため、交流人口の増加や地域経済活性化への貢献が期待される。

新たに開業する長野―金沢間は線路延長が約228キロメートル。この間、長野県に飯山駅、新潟県に上越妙高駅と糸魚川駅、富山県に黒部宇奈月温泉駅と富山駅、新高岡駅が設けられる。終着点となる石川県には金沢駅より西に白山総合車両基地ができる。

列車の名称は現在運行中の東京―長野間の「あさま」に加え、東京―金沢間の主要駅のみに停車する速達タイプが「かがやき」、同区間で停車駅が多いタイプが「はくたか」、富山―金沢間のシャトル便タイプが「つるぎ」に決まった。いずれもJRが過去に運行していたか、現在も運行している名称で、なじみのある名称となった。

このうち「かがやき」は、1988―97年に金沢と長岡を結ぶ特急列車の名称として使われた。JR西日本の真鍋精志社長は「輝く光がスピード感と明るく伸びていく未来をイメージさせる」と説明する。また「はくたか」は、65―82年に金沢と東京の上野を結ぶ特急列車で使われ、97年からは金沢や和倉温泉、福井と、上越新幹線が停車する越後湯沢を結ぶ特急列車に使われており「北陸と首都圏を結ぶ列車として親しまれている」（真鍋精志JR西日本社長）と強調する。



黒部宇奈月温泉駅に入る試験走行車

営業車両にはJR東日本の「E7系」とJR西日本の「W7系」が投入される。営業エリアは上越妙高駅を境に両者が分担し、共同運行する。12両編成のうちの1両には、グリーン車よりも上級の車両「グランクラス」を導入する。すでに導入されている東北新幹線と同様、専属のアテンダントが乗り込み、飲食料の振る舞いやダイヤの案内などでおもてなし、快適な旅を演出する。

走行試験はJR東日本車両の電気・軌道総合検測車「イーストアイ」による検査に引き続き、JR東日本が東北・上越・長野新幹線に投入している営業車両「E2系」を使って2013年12月から長野―黒部宇奈月温泉間で行われている。「E2系」での試験は3月末までの予定で、実際に営業車両として走る「E7系」による試験は4月以降になる見通し。また、残り区間の黒部宇奈月温泉―金沢間では、14年の夏から秋にかけて走行試験が始まる予定。

北陸新幹線開業1年前で整備が進む富山駅

「E7系」は、2月の大宮―長野間での試乗会に続き、東京―長野間での営業運転が始まった。

今後、開業6カ月前に運行ダイヤの概要が、3カ月前には詳細が発表される見通し。ダイヤが明らかになれば、新幹線から乗り継ぐ在来線や路線バスなどへのアクセス強化、観光スポットを巡る周遊ツアー拡充など、来訪客の利便性を高めるための取り組みがより一層加速されることが見込まれる。

首都圏からの来訪客増加に向けて、北陸のイメージアップを図るためのイベントを各機関が開いている。北陸経済連合会は2月に観光や企業誘致を切り口にした1000人規模のフォーラムを東京のホテルで開いた。同じく2月には、江ノ島電鉄（神奈川県藤沢市）と連携し、北陸の菓子を提供する列車の運行したほか、食をテーマにしたワークショップを設けた。

中小企業基盤整備機構北陸本部は13年の4月と12月に東京で「北陸工芸品フェア」を開催した。漆器や銅器、友禅など北陸の伝統工芸品を取り扱う企業が約400品目を展示した。また金沢箔を使った箸やクリスマスカードの製作、加賀水引の職人の指導によるクリスマス飾りの製作などの体験コーナーも設けて伝統工芸品の魅力をPRした。

新幹線で首都圏と結ばれる北陸地域の経済動向は緩やかに回復しつつある。工作機械や汎用機械では高水準の生産が続き、自動車関連向けの電子部品や住宅用アルミ建材、後発医薬品などの生産が増加している。公共事業や住宅建設は前年を上回り、雇用情勢は緩やかに回復している。個人消費は宝飾関連などの高額品や飲食料品を中心に緩やかに回復しつつある。こうした回復に向かう動きが続いて景気が改善されれば、企業の設備投資の活発化や人材採用の増加などにつながる可能性がある。

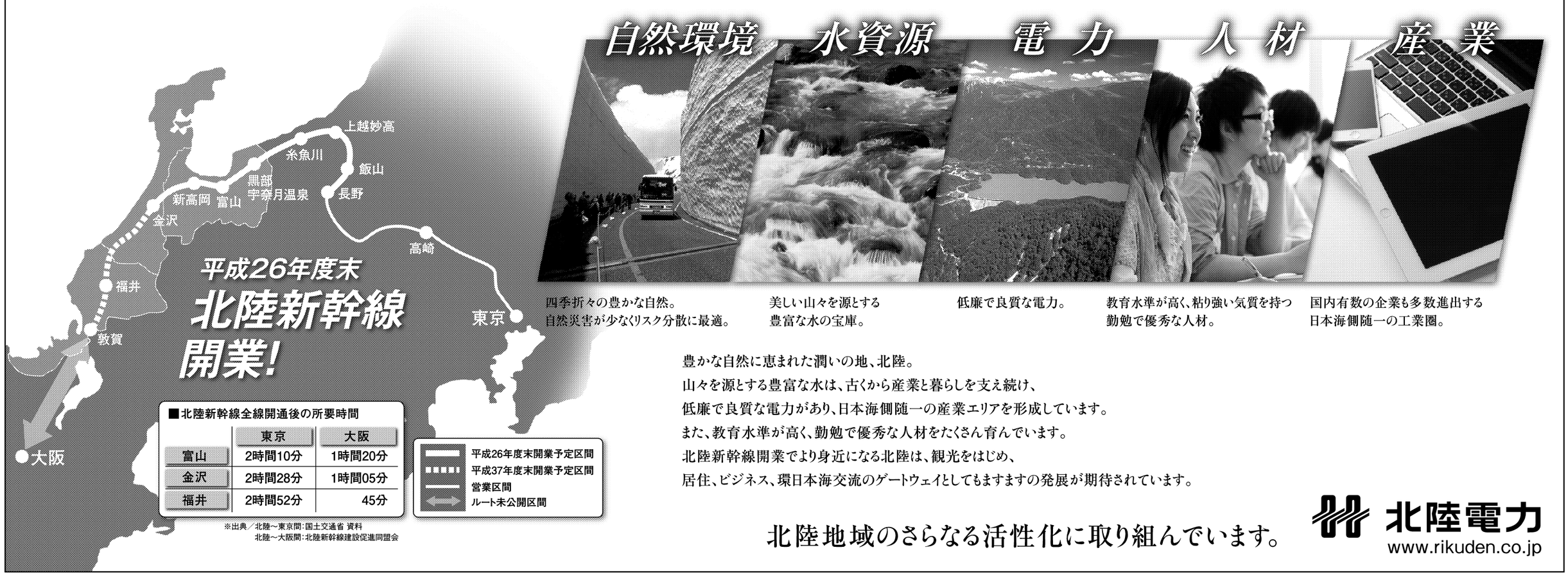
北陸財務局による14年1―3月期の企業景気予測調査では、全産業での「上昇」超幅が6・7％ぽだった。このうち大企業と非製造業ではそれぞれ、04年4―6月期の調査開始以来、最大の「上昇」超幅となるなど、企業の景況感も良好に推移している。

富山、石川の両県内には数多くの工業団地が点在する。ほかの地域と比較して大地震の発生率が極めて少ないことから、企業のリスク分散には最適な立地との見方もある。08年に東海北陸自動車道が全線開通したことにより東海地方とのアクセスが向上したほか、13年には能登有料道路が無料化されて「のと里山海道」となるなど交通の利便性が高まっている。

石川県志賀町の「能登中核工業団地」では8年間の電気料金が約半額になり（適用には条件や限度額がある）、富山市の「富山八尾中核工業団地」では工業用水が1立方ぶあたり36円と安価に使用できるなど、ランニングコストを抑えるための支援制度が充実している。このほか、富山県高岡市の「高岡オフィスパーク」や、13年に譲渡価格を引き下げた富山県小矢部市の「小矢部フロンティアパーク」など立地環境に恵まれた工場用地、オフィス用地がそろっている。

将来、北陸新幹線は金沢よりさらに西へ延伸される。13年に金沢―敦賀間を着工し、長野―金沢間の開業から10年強後に開通する予定。鉄道や道路といった陸の交通に加えて、空港や港湾などの空や海の交通インフラも整備が進んでいる。3大都市圏や海外へのアクセスがさらに向上される。地域の魅力を高めながら発展すれば、さらなる企業進出が期待される。

豊かな北陸がますます近くなる。



豊かな自然に恵まれた潤いの地、北陸。
山々を源とする豊富な水は、古くから産業と暮らしを支え続け、
低廉で良質な電力があり、日本海側随一の産業エリアを形成しています。
また、教育水準が高く、勤勉で優秀な人材をたくさん育んでいます。
北陸新幹線開業でより身近になる北陸は、観光をはじめ、
居住、ビジネス、環日本海交流のゲートウェイとしてもますますの発展が期待されています。

北陸地域のさらなる活性化に取り組んでいます。
北陸電力
www.rikuden.co.jp